

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立 八幡西障害者地域活動センター	施設類型	目的・機能		
			I	— ⑦		
	所 在 地	北九州市八幡西区香月西四丁目 5 番 3 号				
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。				
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <u>完全利用料金制</u>				
		インセンティブ制 有・ ☒ 無	ペナルティ制 有・ ☒ 無			
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会				
	所 在 地	北九州市戸畑区沖台二丁目 4 番 8 号 育成会会館 3 階				
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（生活介護、自立訓練（生活訓練）、就労継続支援（B型））の管理運営。				
指定期間		令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日				

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント						
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み						
(1) 施設の設置目的の達成						
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。						
[所 見]						
【利用率】 (単位：%)						
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
目標値	109	100	90.0	90.0	70.0	85.0
実績	88.7	86.4	66.6	68.6	76.6	93.5
※利用率算出方法：延べ利用者数÷（定員×開所日数）						
※ 対象年度（以下、同じ）						
①③・支援プログラムや職員体制、作業環境の見直しを進めるなど新規利用者の確保に努めており、利用率は回復している。事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。						
①・生活介護事業については、障害の重い利用者に対する働く場の提供として、創作活動の推進（牛乳パック製品を活用した和紙作りや祝儀袋やポチ袋の作製等）軽作業の導入、農作業等、魅力あるプログラムの創出に努めている。						
・また、常勤の看護師を配置し、利用者の安全や家族の安心の確保に努めている。						
③・強度行動障害者など障害の重い方を対象とした個別プログラムを整備するとともに、日本財団の助成金を活用し、活動室のリニューアルを行うことで、就労環境の整備を行い、創作活動による工賃獲得につなげた。						
【月平均工賃額（就労継続支援B型）】 (単位：円)						
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
目標値	17,000	18,000	18,000	18,000	18,000	19,000
実績	11,157	15,729	15,421	17,127	15,838	17,892
①・就労継続支援B型について、工賃向上と働く場の拡大を目指し、農福連携事業については、利用者のニーズに合わせて規模の縮小を行い、「西活農園」として再スタートを行うとともに、利用者の高工賃に対するニーズや個々の特性に応じた支援のため、施設外就労1か所・施設内作業1か所の新規開拓を行った。						
②・広報紙を年7回発行し、配布するほか、ホームページやInstagramの随時更新を行うなど年度目標の達成に向けて広報活動が実施されている。						

- ・施設外支援やマルシェ出店時など生産活動を通じた機会に加え、地域の幼稚園と農業交流体験を実施するなど、ニーズに合わせた受け入れによる地域を巻き込んだ事業展開で、企業や地域に対して障害者福祉に対する理解や啓発に取り組んだ。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。
- ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所 見】

施設の総合評価

【満足度】

(単位：%)

年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
目標値	90	90	90	90	90	90
実績(生活)	84.4	82.1	91.6	93.6	95.2	96.7
実績(就労)	77.6	82.8	93.4	95.7	91.2	97.5

- ① ・アンケートの結果、施設の各サービスの「良い」、「まあまあ良い」を合わせた評価は、97.1%（生活介護96.7%、就労支援97.5%）となっており、利用者の満足度は非常に高いものとなっている。
 - ② ・日々の各事業のプログラム、レクリエーション、旅行などを通じて、利用者の意思や希望を表出しやすいよう、絵カードや写真、具体物等を活用し、選択できる環境を整備し、意思実現支援に努め、利用者のエンパワーメントが高まるよう配慮した。
 - ③ ・法人として苦情解決制度を設けているほか、施設としても利用者から出された意見や苦情等に対して適切に対応している。
 - ④ ・行事や活動等の説明の際に、利用者個々に配慮した情報提供に取り組んでいる。
 - ⑤ ・地域住民や学生ボランティア等を積極的に受け入れ、より開かれた事業所づくりに努めている。
 - ⑥ ・利用者の社会参加や生きがいづくりの一環として、農園を活かした農福連携事業など、特色のある取組みを進めており、利用者が育てた野菜を近郊のショッピングモールに陳列する機会を設ける等、利用者の就労意欲の向上に努めるとともに、障害者に対する理解の促進を図っている。
- ・看護師を2名配置することで、これまで難しかった在宅酸素の利用者の受け入れを実現した。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な

取り組みがなされ、その効果があったか。 ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。 ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。																											
〔所 見〕 【光熱水費】 (単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>【参考】R2 年度 (更新前)</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> <th>R7 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予 算</td> <td>10, 100</td> <td>10, 100</td> <td>10, 370</td> <td>11, 540</td> <td>9, 594</td> <td>10, 360</td> </tr> <tr> <td>決 算</td> <td>8, 699</td> <td>10, 565</td> <td>10, 905</td> <td>9, 407</td> <td>10, 242</td> <td>8, 306</td> </tr> </tbody> </table> ① ・軽微な修繕等は自主的に取り組み、経費削減と建物保全を職員自らが行うことで、維持管理意識の醸成に取り組んでいる。 ・事業所での予算執行状況をリーダーミーティングで確認するとともに、法人本部と連動し、四半期毎の分析を行い、収支の動向や予算執行の適正化を図っている。							年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	予 算	10, 100	10, 100	10, 370	11, 540	9, 594	10, 360	決 算	8, 699	10, 565	10, 905	9, 407	10, 242	8, 306
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度																					
予 算	10, 100	10, 100	10, 370	11, 540	9, 594	10, 360																					
決 算	8, 699	10, 565	10, 905	9, 407	10, 242	8, 306																					
(2) 収入の増加 ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。																											
〔所 見〕 ・提供するサービスは、障害者総合支援法に基づく法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫の余地がない。																											
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み																											
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況 ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。 ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。 ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 ④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。																											
〔所 見〕 ①④ ・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。 ② ・法人が主催する研修会等に職員を積極的に参加させており、職員の資質・能力の向上を図っている。 ③ ・地域の行事（八幡南お盆祭り、香月市民センター文化祭等）やコスモス畑の育成管理、市民健康ウォーキングへの参加など地域のまちづくり行事等へ積極的に参加している。また、近隣の保育園、幼稚園の園児と収穫体験を行うなどの農業交流やおいも祭り、餅つきなど園の行事への参加を継続している。 ・職場実習として、大学や専門学校等からの実習生を受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。																											
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。 ② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適																											

切に実施されているか。
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。
【所 見】 ①②・利用者の個人情報保護や人権尊重、身体拘束防止等への取り組みにより、適切な運営に努めている。 ⑤・日常の事故防止や安全対策の取り組みとして、「ヒヤリハット報告」の速やかな対処と職員間の情報共有を図り、事故に対する意識向上に取り組んでいる。 ・定期的なカンファレンスにより、利用者支援についての振り返りを行うなど、適切な支援に向けた取り組みが行われている。 ⑥・避難訓練の実施やAEDの維持管理、事業継続計画・防災マニュアルの更新など、救急救命に対する職員の技術及び意識向上に取り組んでいる。

【総合評価】

【所 見】 ・事業計画に沿って、通所施設の適切な運営管理を行っており、利用者の障害特性やニーズに応じたサービス提供に努めるとともに、利用者の満足度も非常に高い。 ・生活介護事業については、障害の重い利用者に対する働く場の提供として、創作活動の推進（牛乳パック製品を活用した和紙作りや祝儀袋やポチ袋の作製等）や軽作業の導入、農作業等、魅力あるプログラムの創出に努めているほか、常勤の看護師を配置し、利用者の安全や家族の安心の確保に努めている。 ・強度行動障害者など障害の重い方を対象とした個別プログラムを整備するとともに、日本財団の助成金を活用し、活動室のリニューアルを行うことで、就労環境の整備を行い、創作活動による工賃獲得につなげている。 ・就労継続支援B型について、工賃向上と働く場の拡大を目指し、農福連携事業については、利用者のニーズに合わせて規模の縮小を行い、「西活農園」として再スタートを行うとともに、利用者の高工賃に対するニーズや個々の特性に応じた支援のため、施設外就労1か所・施設内作業1か所の新規開拓を行うなど、ニーズに合わせた柔軟な対応を行い、利用者満足度や工賃の向上につなげている。 ・本施設は、利用者の社会参加や生きがいのづくりの一環として、農園を活かした農福連携事業など、特色のある取り組みを進めているが、利用者が育てた野菜を近郊のショッピングモールに陳列する機会を設ける等、利用者の就労意欲の向上に努めるとともに、障害者に対する理解の促進を図っている。 ・地域の行事（八幡南お盆祭り、香月市民センター文化祭等）やコスモス畑の育成管理、市民健康ウォーキングへの参加など地域のまちづくり行事等へ積極的に参加している。
--